

りゅうおう 議会だより

No.144
2008.7.1

RYUOH

編集発行●滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



竜王町消防ポンプ操法大会

●
主
な
記
事
●

第2回（5月）定例会

- 条例関係・専決処分・
平成20年度補正予算など…………… P 2～3
- 一般質問…………… P 4～7
- 委員会報告…………… P 8～10
- 議会傍聴記・編集後記…………… P 10

平成20年第二回定例会は5月19日から5月30日までの日程で開催されました。

条例改正、専決処分、
一般会計補正など

※条例改正

◎竜王町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

・消防団員等公務災害補償責任共済契約に係る掛金の額を算定するために用いる条件定員を190名とするもの。
(全員賛成で可決)

※専決事項

◎竜王町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

・条例文言の一部改正と公務災害補償を「一人につき200円を一人につき217円」に改めるもの。
(全員賛成で承認)

◎竜王町手数料徴収条例の一部を改正する条例

・住民基本台帳法が改正

されたことに伴い、法規定の追加および条すれを修正するもの。
(全員賛成で承認)

◎竜王町税条例の一部を改正する条例

・公益法人制度改革に伴い、法人町民税関係で法人でない社団または財団で収益事業を行わないものについて均等割を非課税に、収益事業を行うものについては、法人とみなして法人町民税に関する規定を適用するもの。
・独立行政法人緑資源機構法の廃止に伴い固定資産税および特別土地保有税の納税義務者の規定を整備するもの。
・住宅借入金等特別税額控除の申告をしなかったことによる得ない理由がある町長が認めるときは、納入通知書送達後に適用することができるとする。
・住宅税制として省エネ改修を行った住宅に係る固定資産税の減額措

置を創設するもの。
(全員賛成で承認)

※人事案件

◎平成20年7月21日をも

つて竜王町選挙管理委員会委員および補充員の任期が満了することに伴い、次の方が推選されました。
委員 坪井嘉十郎氏
富家 治男氏
木村 常雄氏
古株香代美氏
村井 正憲氏
谷村ゆき江氏
谷口 嘉次氏
岡谷ふさ子氏

補充員

補正予算

◎平成20年度竜王町老人保健医療事業特別会計補正予算(第1号)

今回の補正は平成20年度当初予算1億3500万円に歳入、歳出にそれぞれ2696万6千円を追加し、予算総額を1億6196万6千円に改めるものです。

・歳入補正の主なもの

医療費支払基金交付金(過年度分)
703万8千円

審査支払手数料支払基金交付金(現年度分)
10万円

医療費国庫負担金(過年度分)
1752万1千円

医療費県負担金(過年度分)
230万7千円

・歳出補正予算の主なもの

審査支払手数料

10万円

償還金

11万3千円

前年度繰上充用金

2675万3千円
(全員賛成で可決)

◎平成20年度竜王町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

予算総額に変更はなく、特別徴収保険料から一般徴収分へ1300万円(18%)を振り替えたものです。
(全員賛成で可決)



総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

○平成20年度竜王町一般会計補正予算（第1号）は、2800万円を追加し、歳入歳出予算の総額を49億4800万円と改めるものです。

主な内容は、歳入では日野川用水施設管理事業に関わる地元担当金及び県補助金、集落営農ステツプアップ実践事業県補助金、前年度繰越金です。

歳出では日野川用水施設管理協議会への負担金と、下水道事業特別会計への繰出金、町有施設のアスベスト調査・分析業務委託料、福祉医療扶助費、地区計画整備検討業務委託料、公民館館内放送用アンプ設置工事です。

主な質疑応答

問 IBMグラウンド跡地の地区計画整備検討業務のまちづくり計画は、町が計画策定し、費用も町が持たなければならない

のか。

答 地区計画のまちづくり計画は、基本的に町が立案するものです。
（全員賛成で可決）

○平成20年度竜王町下水道事業特別会計補正予算（第1号）は、700万円を追加し歳入歳出予算の総額を10億5800万円と改めるものです。

補正予算の内容は、町道薬師砂山線で下水道管布設83.7mとマンホール4箇所を設置するものです。

工事箇所は大型商業施設の南側の鳴谷川の河床下をくぐり抜ける区間で、鳴谷川に橋を架けるまでにこの区間の工事を済ませておくものです。

主な質疑応答

問 この配管は隣接する近江観光株より寄贈された町有地についても考慮されているのか。

答 町有地10haの分も考慮し200mm管を布設します。

（全員賛成で可決）



まちづくり計画が立案されるIBMグラウンド跡地

竜王町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例は、滋賀県の福祉医療費助成事業補助金対象事業に加え、竜王町単独事業として、所得制限にか

かる方でも、乳幼児、心身障害者、母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦等の方に対し、医療費の一部を助成されており、保健の向上と福祉の増進が図られてきたところで

す。しかし、近年、少子高齢化が進展するなかで、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進が更に重要であることから、その一環として乳幼児医療費自己負担金の無料化を行い、さらに小中学生の入院の医療費についても償還払いにより助成を行い、子育てにかかる経済的支援が実施されるものです。資料として、「滋賀県・

教育民生常任委員会

委員長 関司 重夫

竜王町福祉医療費助成制

主な質疑応答

問 小中学生の入院医療費の助成が償還払いなのはなぜか。

答 竜王町単独事業のため、受給券の取扱いができません。本人の申請が必要です。対象が小中学生ですので、学校から保護者に啓発していきま

問 入院して治療を受けた場合の病名の制限はないのか。

答 第三者行為は、加害者が負担しますが、医療費に関する場合は、病名は関係ありません。

意見として

○今後、小中学生の通院医療費の無料化を検討していただきたい。

（全員賛成で可決）

第2回定例会

一般質問

- ①アウトレット、事業者に強力な指導を!!..... 若井 敏子 議員
- ②竜王町補助金の見直し検討について..... 山添 勝之 議員
- ③岡屋地先県有地の取り組み状況について 村田 通男 議員
- ④(株)雪国まいたけの工場建設の見通しについて..... 蔵口嘉寿男 議員
- ⑤町内の医療機関の充実について..... 山田 義明 議員

一般質問は5月28日に行なわれ、通告のあった5人の議員から13問の質疑と当局による回答がありました。

本ページから6ページまで、各議員の代表的な質問を1問ずつ、登壇順に掲載しております。また、7ページにその他の質問も掲載しました。

是非 お読みいただき、ご意見やご感想を議会事務局まで お寄せ下さい。

そこで伺う。①先の説明会の内容。②事業者の目的は何か。③町としてどのような指導をするのか。④住民の不安に答え、丁寧で納得できる説明をすべきだ。住民の意見をよく聞き、事業者が適切な対応をするよう強力で徹底した指導を求める。今後の予定を伺う。

問 埼玉県入間市では4月にアウトレットモールが開業し、交通渋滞など住民や市当局が大変な状況だと聞いている。竜王町の計画について地元希望ヶ丘の皆さんに伺うと、詳しいことがわからないので不安がいっぱいだと言われている。

問

埼玉県入間市では4月にアウトレットモールが開業し、交通渋滞など住民や市当局が大変な状況だと聞いている。竜王町の計画について地元希望ヶ丘の皆さんに伺うと、詳しいことがわからないので不安がいっぱいだと言われている。

答

5月11日竜王商業施設開発計画のアセスと事業計画について説明会が開かれ、42人が参加されました。参加者からはインターから住宅までの緑地の緩衝

がなくなることで、動植物のこと、夜間の照明や景観のこと、騒音、大気汚染、工事中の粉じんについてなど質問や意見が出されました。事業者としては竜王町がめざすまちづくりの基本方針の一役を担うことで地域の活性化に貢献したいとして

たいとして



希望が丘団地付近のぶどう園に道路が付けられます

います。町としても税収や就労の機会創出に加え、長年の懸案事項でもあり、この開発による相乗効果も生み出していきたいと考えています。入間市のことや住民の意見を聞くこと、説明をすることなど参考にさせていただきます。



答指導していきます

アウトレット、事業者に強力な指導を!!

若井 敏子 議員

竜王町補助金の 見直し検討について

山添 勝之 議員

審行財政改革委員会で検討研究しています



問

平成20年度の
竜王町予算計上
補助金は約3億円となっ
ております。

地方交付税不交付団体
ではあるが、現在の豊か
な財政力に甘えず歳出の
削減努力が将来のために

も必要です。補助金の見
直しのため、民間による
〈検討委員会〉が必要だ
と考えるが当局の見解を
伺う。

答

〈竜王町行政
改革集中改革プ
ラン〉においても外郭団
体や各種団体への運営活
動補助金は減額削減努力
をしてきています。補助



竜王町総合庁舎

金の成果、有効な使途の
検証の中、重点化、整理
統合小廃止を行政改革
推進委員会に評価検証部
門を設置し検討してい
たくよう進めています。
民間による検討委員会は
現在考えておりませんが
町民みなさまのご理解が
得られる補助金制度の確
立に向けて鋭意努力して
まいります。

問

今日までに、
滋賀県において

県有地の有効利用を図る
ため、企業立地を推進す
る方向で、工業用地の開
発を前提に、事前調査と
して概略設計を実施され
たとの説明を受けました。
その後における滋賀県
としての対応、県企業誘
致推進室、土地開発公社
などは、どのように進め
ておられるのか、現在の
進捗状況を伺う。

また、開発後、国道
477号の交通渋滞が予
測されます、今から県に
対して4車線化等の対応
策を協議、要望をしてお
かないと間に合わないか
と思うが、町としてどのよ
うに考えておられるのか
伺う。



岡屋地先県有地の 取り組み状況について

審努力してまいります

村田 通男 議員

答

現在、滋賀県
と滋賀県土地開
発公社において、昨年度
実施された事業化に向け
た可能性調査の結果を検
討中であるとのこと。

まもなく町に対して、
正式な説明をいただける
と聞いており、関係部署
において、精力的に取り
組んでいただいているも
のと認識しています。

また、企業誘致面では、
県企業立地促進協議会に
参加すると共に、県企業
誘致推進室と連携して県
有地への企業誘致のため
の連携体制を整えるなど、
早期の立地企業決定に向
けて、取り組んでいると
ころです。

また、湖南工業団地か
ら竜王インターまでの国
道477号の渋滞問題に



渋滞が予想される477号

つきましては、現在でも
県道春日竜王線交差点付
近から交通渋滞が発生し
ており、大変重要な課題
であると認識しています。
早期の4車線化が望ま
れますが、まずは、交差
点改良と道路拡幅を県道
路担当部局に要望してい
るところです。
町としては、この事業
の実現にむけて、最大限
の努力をしていきたいと
考えています。



（株）雪国まいたけの工場建設の見通しについて

蔵口嘉寿男 議員

答 本年9月末において建設の判断をされます

問

（株）雪国まいたけ 滋賀工場の造成工事が完了したが、事業者から建設計画の回答が得られていない。直近の経営状況について伺う。農村工業導入促進法の認可期限が切れた場合の工場建設の方策と見通しはどうか。

地元や土地提供をされた方々の思いを含めて、会社側に対する交渉方針を伺う。

答

3月期末の会社の経営状況は、業績回復に向けた経営改善に努力され、前期を上回る実績を上げられていないと聞いております。

町および地元からの厳しい要請に応える形で、



建設が待ち望まれる工場予定地

事業者から本年度中間期（9月末）において工場建設の判断をするとの回答をとりつけております。まずは、本年度中間期の事業者からの建設決定の前向きな判断を期待するところではありますが、様々な判断が想定されま

す中、今後における竜王町のまちづくりへの大きな影響や農工法の期限などを斟酌いたしますと、事業者の所有地ではございますが、町としても、その有効な活用への指導をしていく段階であると強く感じております。

町内の医療機関の充実について

山田 義明 議員

答 医療機関を誘致する計画はありません



問

病気になる時に、町内に医療機関が有ると無いのはその後の治療や療養にも大きく影響します。そこで、竜王町の医療機関の充実について伺います。1、竜王町の医療機関の

答

竜王町の医療機関は、治療ということが基本にありますが、診療時や薬剤の提供時において患者さんの生活習慣の改善や疾病予防に関する指導・アドバイスをしていただくと共に、竜王町が進めます健康増進関連施策について専門的立場から助言や評価をいただくといい役割を担っていただいております。

竜王町内の医療機関は、医科が3診療所、歯科が4診療所ありまして、それぞれ地域医療の推進にご尽力



町内の医療機関の一翼を担う弓削メディカルクリニック

役割分担は、町ではどのようにされているのか。2、今後、医療機関の充実についてどのように考えておられるのか。お伺いします。竜王町としては、現時点では積極的に医療機関を誘致する具体的な計画はありませんが、「健康いきいき竜王21プラン」に基づき諸事業の推進に努めてまいりますので、よろしくご理解ください。

こんな質問も

しました

問

若井 敏子議員
後期高齢者医療費制度は全国

で多くの批判があり廃止
しかないと思っている。

①この制度に対する不満
や意見が町に寄せられい
るか。②社保から国保へ
の移行はすすんでいるか。

③国保加入者の健診受診
率が悪いとペナルティが

あると聞くがその対応
は？受診率向上、医療費

削減のため、健診の無料
化を求める。所見を伺う。

答

被保険者証が
薄いと言うもの

で今後検討したい。社保
からの移行は社保で進め
ていただくもの。現在4
人移行されました。健診
の実績は18%から19%
です。受診を無料にするた
めには57万円から94万円

が必要で。今後検討し
ます。

問

若井 敏子議員
高齢者や障害
者のサービスが

深刻な人材不足に陥って
いる。福祉職場の人材確
保、職員の定着・育成の
ために町独自の支援を求
める。

答

人材不足の要
因は介護保険の

報酬見直し、障害者自立
支援法の日額報酬への移
行による処遇の低下など
が考えられますが、適切
な給与水準や労働環境が
確保されるべきだと考え
ています。町としては既
存の助成事業の対象範囲
を広げるなど支援をして
まいります。

問

若井 敏子議員
地域医療を守
るために医師・

看護師不足への対応、救
急体制の強化などについ
てどのように取り組むの
か、必要な案件について
は県への要請など必要と
考えるがどうか。

答

滋賀県では「保
健医療計画」を

改定されましたが医師は
東近江などで減少し、産
婦人科の医師確保は緊急
の課題です。竜王町には
「医療計画」はないが安
全安心な医療を提供する
ため、県に要請していき
ます。

問

若井 敏子議員
火災報知器の
設置が義務づけ

られるが町内の低所得者

答

火災報知器は
既存住宅につい

ては平成23年6月1日か
ら設置が義務化されます。

70歳以上の高齢者住宅
に火災報知器を設置する
と約96万円の予算が必要
です。現在は補助制度を
考えておりませんが、日
常生活用具給付事業など
福祉部門での補助制度で
運用したいと考えていま
す。



提供 財団法人 日本防火協会

問

山添 勝之議員
職員の仕事異
動について、町

長はどのような基準で毎
年の人事異動を行ってお
られるのか伺う。

答

竜王町は人を
育てる人事管理

としてジョブローテーシ
ョン、ブラザーシスター
制度、人事評価制度の取
り組みを進めています。
採用後10年から15年を目
途に能力開発、適正把握
するための多様な職場を
経験させる。その後職員
の適正に応じて人事配置
を行っています。

問

山添 勝之議員
大型商業施設
オープン後の交

通渋滞対策について、緩
和对策を話し合う「検討
委員会」を設立しては。

答

滋賀県道路課
主管による「竜

王商業施設開発に伴う交
通部会」が立ち上がった
おり、そこで協議を重ね
ております。

問

山添 勝之議員
アウトレット
モール周辺の管

理について、施設開店後
の進入道路の周辺に産廃
等の不法投棄に対する管
理はどうするのか伺う。

答

土地の管理は
基本的には所有

者の責任で対策がされる
べきです。

町有地については、環
境監視員にてパトロール
を強化します。

問

山添 勝之議員
大型商業施設
開店後の汚水流

出対策について、駐車場
からの雨水が善光寺川へ
流出するがその対策は。

答

商業施設から
の汚水は公共下

水道に接続します。駐車
場からの雨水は通常問題
ありません。善光寺川の
水質検査は年2回、底質
検査は年1回行っており
ます。

各委員会報告

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

所管事務調査

本委員会は5月12日に竜王町下水道事業、竜王町の財政についての調査を実施しました。

○竜王町の下水道事業計画では、平成20年度から24年度までの下水道事業内容、事業費、財源内訳、借入残高等について説明を受けました。

借入残高は、平成24年度に52億9885万8千円と順次減額の予定。

竜王町の財政では平成11年度から20年度にわたり予算・決算の推移や地方債残高や基金の推移等について説明を受けました。平成19年度は税源移譲や景気の影響で町税も多くなつた。町債は平成17年度より必要最小限の起債発行となっている。

5月27日は財政健全化法と公会計制度の動向に



ついて調査を実施しました。

一般の人にも分かり易

くすると共に、地方財政の健全化を図る法律が制定されたことや、公会計制度導入による会計処理が検討されていることについて説明を受けました。

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

所管事務調査

教育民生常任委員会は5月12日、今年度より発足された「滋賀地方税滞納整理機構」について調査しました。

順調に布設される下水道管

県と市町村が協働して地方税（町県民税・固定資産税・国民健康保険税）の滞納整理に取り組むもので、竜王町の場合は、県からの支援職員2人、近江八幡市から1人、竜王町1人の計4人がチームを構成し、平成20年度上半期は竜王町、下半期は近江八幡市に滞在します。

竜王町の滞納件数は137件で滞納額は3600万円です。

5月26日「竜王町の医療等について」「発達障がい児の支援について」調査しました。

竜王町・近江八幡市お

よび東近江地域の国保診療所、民間医療機関等のなかで、特に注目された近江八幡市立総合医療センターの産婦人科については、昨年度3名の産科医師のうち2名が辞められる中で、本年4月より再び3名の産科医師体制となり、産科外来も開設されました。

また、6月より分娩予約も開始の予定です。

主な質疑応答

問 滞納整理の対象となる税は何か

答 町県民税、軽自動車税、固定資産税、国民健康保険税です。

問 竜王町の滞納額で一件の最高額はいくらか。

答 100万円超です。

合併調査特別委員会

委員長 蔵口嘉寿男

本委員会は、去る5月27日に山口町長、担当職員の出席を求め委員会を開催しました。

去る、3月18日の合併調査特別委員会から以後の合併を取り巻く状況について調査しました。

県下の状況について

安土町は、本年2月に合併検討会議が設置され7回の検討会議の討議を経て、本年6月に提言書が提出される予定となっています。

近江八幡市では、去る5月22日に「市町合併を考える市民フォーラム」が開催され、約100人の参加があったとのこと。

長浜市と周辺6町の湖北地域では、本年2月に「1市6町合併に関わる事前協議会」を設置して

地域創生まちづくり特別委員会

委員長 山添 勝之

本委員会は5月26日に次の事項について調査活動を行いました。

(1)竜王インター周辺のまちづくり

近江観光からの寄贈地の現況については、名神高速道路の南部6ha、北部10haについては公共性の高い施設としての利用を進めています。現在具体的に決まっています。

小口地先町有地については、企業立地に基づく方向で各企業に対し誘致を行っています。現在のところアクションがありません。

現在、周辺の公図混乱地区の現地調査を行い、公図訂正を行っています。

(2)岡屋地先県有地の動向
当該地は市街化調整区

域であり、滋賀県と県土地開発公社とで工業用地としての利用計画を進めていただいております。

また、6・7月頃県から竜王町に説明がなされる予定です。

主な意見

祖父川は天井川であり上流において広大な土地開発をされることにより大雨による洪水等の災害が発生しないように十分考慮願いたい。

(3)まちづくりと地域計画制度

日本アイ・ビー・エム(株)跡地計画については、宅地開発業者が当該地に開発計画を立てているようです。

町としては排水問題等の課題はありますが、前向きに協議を進めてまい

ります。

また、草刈りなど環境整備について今後も依頼していきます。

中心核については、地元地権者と話し合い、道路以外の件については一応の理解を得られていますが、最終的に条件を提示してもらい全面的に協力をお願いします。

(4)雪国まいたけについて
現在会社の経営状況が

厳しいようであれば建設計画は進展しておりません。

今回の委員会では、全てにわたり交通問題が関わっており、今後の町発展に避けることの出来ない要件であります。また、国道8号から湖南市下田間の国道477号については、4車線化に向けての交通対策を早期に講じる必要があると認識しました。



アウトレットモール (イメージ)

議会運営委員会報告

委員長 岡山 富男

本委員会は、去る4月15日、第1委員会室において、平成20年第2回定例議会の会期および日程について、審査決定しました。また、竜王町選挙管理委員会委員および同補充員の任期満了による選挙等について審議しました。

5月13日、第1委員会室において、平成20年第2回定例会に提出される提案事件について説明を受けました。今回提案さ

れる案件は、専決処分3件、条例一部改正2件、一般会計特別会計の補正予算3件、報告3件、計11議案であります。

議会開会中の5月21日、第1委員会室において、平成20年度竜王町老人保健医療事業特別会計補正予算（第1号）について説明を受け、議案処理について協議しました。その後一般質問13問について、それぞれ協議しました。

議会広報特別委員会

委員長 貴多 正幸

本委員会は、平成20年第1回定例会閉会後の3月28日、4月4日委員1名欠席、4月10日、4月21日、5月2日、5月8

日に委員全員出席のもと、委員会を開催し、5月15日に議会だより143号を発行しました。入札の結果、印刷業者

が今年度より変わったこともありましたが、委員全員が一丸となって取り組んだことにより、町民に親しまれる「議会だより」が発行できたと思います。

また、平成20年第2回定例会開会中の5月21日に委員全員出席のもと、議会だより144号の編集会議を開催しました。今後委員それぞれが協力しながら、町民に親しまれる、わかりやすい議会だよりの発行に努めてまいります。

初めての議会傍聴に思う

匿名女性

町長選を間近に控えた去る5月28日、第2回定例会の一般質問を初めて傍聴させていただきました。

私達の選んだ議員さんが、議会でのような質問をされているのか興味深さと共に少し緊張気味で傍聴席に着きました。

私が聴かせていただいた質問は、後期高齢者医療制度やアウトレットモールについて等

議会傍聴記

でしたが、身近な問題で大変興味深く勉強させて頂くことができました。ただ、驚いたのは傍聴者があまりにも少なかったことです。

前日にでも有線を通じて町民皆さま

んに「明日の一般質問内容は〇〇などです」として放送していただければ傍聴者も増えるかなと感じました。

今、竜王町の未来を見つめて合併、開発等町民に感心のある問題が多くあります。

私達も当然ですが、子供や若者にも議会傍聴が出来るように夏休みなどに計画して町行政に今から関心を持つてもらいたいと思います。

夜間議会で議会傍聴者を増やす取り組みがされているようですので、今度は地元議員さんの一般質問の時には友達と再び傍聴しようと思います。

竜王町議会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

編集後記

この議会だよりが発刊されるころは最早、山口町長は首長の座を退いておられることでしょう。議員から町長へと竜王においては、初めてのことでありましたが、前任の福島町長の路線を継承し現在の竜王発展に尽くしてこられました。山口町長は特に三つの柱①若者定住②竜王インターチェンジ周辺の開発③役場周辺を中心核づくりに並々ならぬ情熱を傾けられ、近江観光から16haもの広大な土地の寄贈を受けられ、岡屋地先県有地の企業立地による開発促進小口地先町有地の開発等数え上げれば限が無いほど多くの事業に着手してこられました。成果はこれからという時にこんな大きなプロジェクトを次の方にお任せするとの勇断は余りにも見事なご勇退であります。

新町長に於かれましてはこの路線を断つことなく、竜王発展の礎として邁進願いたく思います。

山口町長本当にご苦勞様でした。いつまでもお元気に過ごされますようご祈念申し上げますとともに、今後は良きアドバイザーとして、町の益々の発展にお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長 貴多 正幸

副委員長 大橋 弘

委員 岡山 富男

山添 勝之

岡司 重夫

小森 重剛